



The service club to the YMCA  
 THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年6月会報 第333号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) ウィチャン・ブーンマパシジョン (タイ)

主 題: " Mission with Faith "

「信念の有るミッション(使命・目的)」

アジア地域会長(AP) エトワード ケータブリュー オンガ(シンガポール)

主 題: "Through Love Serve

「愛を持って奉仕をしよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)

主 題: 「あなたならできる! きっとできる」

“ You can do it! Yes, you can! ”

標 語: 「-生きる しなやか さわやか-」

- Live flexibly and refreshingly -

六甲部長 進藤 啓介(神戸)

主 題: 「YMCAと共に」

《人を育み・地域に仕え

宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子

主 題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ: 評価・計画

心の清い人々は、幸いである、  
 その人たちは神を見る。  
 (マタイ5章8節)

2016年6月例会

日 時: 2016年6月8日(水)18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員 3,100 円、会員外 3,500 円

ドライバー 福田 肇 長尾 亘

開会点鐘 鯖尻 佳子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 杉谷 和代

祈 禱 水谷 恭子

ゲスト・ビジター紹介

会長報告・委員会報告

会 食

1年の総括

各委員長の報告

誕生日のお祝い

閉会点鐘

鯖尻 佳子会長

2015/16 役 員	会 長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	長尾ひろみ(6月1日) 若林成幸(6月3日) 青柳美知子(6月5日)
5 月 実 績	例会出席者数 22名 在籍会員数 21名 出席会員数 15名 出席率 71.4% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメント0名、ゲスト・ビジター5名  B F ポイント 5月 4,603円 累 計 40,826円 にこにこBOX 5月 5,000円 累 計 49,300円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 86,118円

## 5月第1例会報告

5月11日(水)6:30pm より、メン15名、メネット2名、ゲスト5名、総勢22名、稲岡大介先生をお迎えして、宝塚ワイズメンズクラブの第一例会が開催された。

まず4月14日、九州熊本に発生した地震に伴い、犠牲になられた方、多くの被災された方々へ、黙祷を捧げた。会長の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷に続き、ゲスト、ビジターの紹介、会長、並びに委員会報告、会食後、今月のゲスト・スピーカー稲岡大介氏による「ハンマーダルシマー」の優雅な音色が会場内に響き渡りました。

ところで、皆様は「ハンマーダルシマー」をご存知

でしょうか？ 10世紀にスコットランドで生まれ、弦が85本の打弦楽器、80年後にはピアノに発展。ピアノの場合は鍵盤を複数の指で弾き複雑な音色を奏でることが



できるが、「ハンマーダルシマー」の場合は同時発音数は2本であるが、繊細な美しい甘い音色が奏でられます。日本での奏者は300名とまだまだ一般的に普及していないのが残念です。

稲岡氏は学生時代に「人と自然のふれあいフェスタ2000in 長野」のテーマ曲に作品が採用され、作曲家としてデビュー。「ハンマーダルシマー」を音楽療法に取り入れる研究をも続けられ、発表されておられます。



演奏曲は我々に馴染みの深いアイルランドの「ロンドンデリー」「ダニーボーイ」「ホームスイートホーム

ム」、日本の「さくら、さくら」では和服姿の妙齡な女性が艶やかに琴を奏でる姿を思わせる音色、また東北地方の「じょんがら節」では津軽三味線の力強い音色が会場内に響き渡りました。映画音楽「ゴッドファーザー」「ヒマワリ」「ロミオとジュリエット」等では当時の映画の場面を思い出したのは私一人では無かったと確信します。

「ハンマーダルシマー」が奏でる七変化の音色に会場の者全てがしばし魅了されたように思われました。

稲岡氏は我クラブメンバー、澤田郁メンの師匠であり、澤田メンが2年前、この音色に出会い、魅了され、弟子入りをされ、今回我クラブでの例会での披露となりました。

近き将来、稲岡氏と澤田メンのデュオが待ち望まれています。その後、誕生祝、21日のバザーの報告、YMCA News があり、会長の閉会点鐘で会



は終了したものの、「ハンマーダルシマー」の甘い美しい音色がいつまでも耳に響いていました。

福田 宏子

## 5月第2例会報告

5月18日(水)18時30分から宝塚西公民館に於いて5月第二例会を行った。出席者は鯖尻会長、石田、多胡、長尾、堀江、吉田。議事要旨は次の通り。

### 1、6月ブリテンについて

原稿分担を決定、原稿締め切りを5月末とした。

## 2、チャリティーバザー最終打ち合わせ

食材調達、機材の搬入、寄贈品、各売場の販売価格等の確認を行った。また残品はキララと障害者情報クラブが引き受けてくれるので両施設に5,000円ずつ寄付する。三井住友銀行の甲東支店から協賛金30,000円の提供がある。

## 3、6月第一例会について

例年通り、一年の活動の総括を行う。各事業委員長は報告書を準備し、例会終了後総会資料担当者に提出する事。ドライバー等予定者の中で欠席者が有るので変更する。

## 4、熊本地震の義援金について

- ① 神戸YMCAから救援ボランティアの活動費支援依頼が六甲部各ワイズ宛てに来ている。当クラブとして支援金総額を勘案して60,000円の支援金を拠出することとした。
- ② 西日本区関係としては複数の組織や個人名での支援依頼が来ているので当クラブとしては西日本区事務所の事業に統一することとした。支援金の額等は今後検討する。また財源確保のために別途方策を検討する。

## 5、東京まちだクラブ、多摩みなみクラブ設立総会

(5・22) チャーターナイト(7・17)出席者確認、チャーターナイトには鯖尻会長、石田メンが出席で当クラブからお祝い金10,000円を贈与

## 6、びわこ部第1回チャリティーラン(6・12)支援金について

近江八幡クラブが中心的役割を担っていることから当クラブとして10,000円の支援金を拠出する。

## 7、第三回六甲部評議会(6.18)

出席者の確認更なる出席を要請

## 8、熊本城復旧チャリティー絵葉書(大阪泉北クラブ、猪瀬正雄ワイズ)について販売協力の依頼が来ている。例会等で売る事で協力する。多胡ワイズが手配、1組500円

## 9、会員の異動

澤田 郁メンより退会願が提出されているので検討の結果6月末での退会を承認した。

吉田 明

## 会長報告

5月7日(土)午後1時からたかつガーデンに於いて大阪サウスクラブ60周年記念例会・祝会に石田メンと一緒に出席させて頂きました。総勢165名の出席者でIBCを締結しておられる韓国からも16名、またDBCの長浜クラブから20名の参加で盛大な祝会でした。日本で初めて英語カタカナの入ったクラブだったそうです。例会では松田淳一、淳子さんのヴァイオリン演奏も素晴らしくまたその演奏に沿ってクラブの歴史が紹介されたことにはびっくりしました。宝塚クラブのこれから50年目指して頑張っていかななくては励まされました。また未だ余震の続く熊本から万難を排して次期理事の岩本悟様が出席され皆様からの支援金を受け取られ感謝の言葉を述べられました。身は遠くに離れていても心は繋がっていきたいと思います。お祝いの会ではありましたが、ワイズメンズの心を深く刻まれた祝会でありました。

鯖尻 佳子

## 2016～2017年度六甲部 準備役員会

2016年5月28日(土)14:00～17:00、賀川記念館で長井次期部長を中心とする六甲部の活動のスタートの準備役員会が開催された。部役員9人、事業主査6人、クラブ会長8人のメンバーが集まり、新部長による活動方針、計画の説明がなされた。続いて現及び次期の役員、主査の引き継ぎのあと、6事業主査と8クラブ会長による活動方針、計画が発表された。我がクラブからは福田素子メネットが

引き継ぎで、鯖尻会長は次期広報委員長として出席。そして現在ドイツでビールを楽しんでおられる次期会長の若林メンの代理で多胡が出席し、与えられた書類を代読した。その後次期六甲部の運営などに関しての懇談があり、全体的に高齢化、メンバーの減と不安はあるもの六甲部一丸となって神戸 Y のサポート団体としての活動を頑張ろうという決意は変わらない。

最後に神戸ポートに2人の新メンバーが7月に入会予定という嬉しい情報を共有し、6月18日の第一回評議会に六甲部メンバーの3分の1以上の参加により充実した評議会の開催でスターとが切れることを願って閉会となった。



多胡 葉子

「明るく・楽しく・元気よく」心を一つ  
第29回チャリティーバザー

5月21日(土)カルチェヌーボ宝塚・逆瀬川で行われた。

「明るく・楽しく・元気よく」を目標に掲げ、例年通り早目に「ワイズ・メネット・YMC



A・リーダー」が心を合わせの取り組みを行った。19日(木)、20日(金)の両日、10時より17時の間にカルチェヌーボ宝塚・逆瀬川の準備室へ各自が昨年度同様に多く収集した企業の協賛品・蚤の市の寄贈品の搬入を行う。商品の値札付け・ラッキー抽選券の商品選び・会

場の設営等、ワイズ・YMCA・リーダーが分担して協働作業を行う。

当日は全員がやる気・元気いっぱい9時に集合して、各コーナーの準備を行う。リーダーの活躍で会場の設営は整い11時より開始される。

蚤の市コーナーは、開始待ちかねたお客さんが群がり売れ行きは好調。

食べ物コーナーは、例年の手造りメニュー、焼きそば・ぜんざい・クッキー・アイスクリーム・アイスモナカ・カルピスでワイズ自慢の味が生かされて好評



アトラクションコーナーは、リーダー

のアイデアによるゲーム等に子供の歓びの声がひびく。

「お楽しみラッキーカード抽選会」は13時より、協賛企業による魅力溢れる商品の当選番号が次々と読み上げられて当選の歓声がひびくなか14時に終了することができました。

「ワイズ・メネット・YMCA・リーダー・応援の方々」準備からお疲れのなか本当にご苦労さんでした。特にYMCAのリーダーの疲れを見せない献身的な働きがほのぼのとした幸せを感じるバザー日に感謝します。



バザー委員長 加藤 光信

第6回アジア地域大会  
第1回マーシャル会

あの暑かった10か月前、京都で開催されたAAC2016にマーシャルとして大会運営を担ったワ

イズメン、27名が、5月28日(土)、18時、京都グランビアホテルに集合しました。去年、8月2日、962名の参加(内ユース、48名)を得て大成功に終わった閉会式のあと、マーシャル委員長であった京都グローバルクラブ、久保田雅彦ワイズの素晴らしい一言、「今日で9つの委員会は解散しますが、マーシャル委員会はマーシャル会として存続します」の宣言に全員が大拍手で再会できる機会を期待しました。

そして第1回マーシャル会実現。岡野泰和直前アジア地域会長、森田美都子実行委員長も出席して京都部、中西部、六甲部から「待ってました」とばかり元マー



シャルが集合。そして全員が嬉しかったのは熊本ジェーンズクラブから前田香代子ワイズが元気な顔を見せてくれたことです。幸い彼女の自宅は大きな被害はなかったとのことですが、来年予定されている西日本区大会の会場である熊本市民会館の被害が甚大で、熊本のイズメンには大きな悩みになっているそうです。

私が担当したマーシャル研修では、マーシャルにはNoはない、Never say NO、いかなる時でもまず「やります」から考えることが大切、と話しました。すると、ある京都の現クラブ会長である元マーシャルは、次期会長候補の急病のためもう1年会長をやって欲しいと言われ、「そうだ、Never say NO や」と思って引き受けました、と言われ大変嬉しかったです。

第2回マーシャル会は、来年熊本大会の時に設定すれば鹿児島や熊本のマーシャルも参加しやすいのでは、と意見が出ています。そして熊本にどんどんお金を落とそうと・・・来年の楽しみが増えました。

石田 由美子

## 【今月のみ言葉】

6番目の幸いの言葉は、心の清い人々の幸いについて述べられています。ここで「清い」と訳されているギリシア語の「カサロス」は、「純粋な」、「清潔な」、「汚れない」等の意味をもち、特に不純なものが混じっていない状態を表現していました。また、古代のユダヤ社会では、この言葉は、物質の純粋性や儀式的な清さ等の「外見的な清さ」と、人間の正しさや誠実さ等の「内面的な清さ」の二つの意味に大別されますが、イエスは特に、後者の目に見えない内面的な清さを強調されました。すなわち、律法等に規定されている形式的な清さよりも、人間の内面における清さを重視されたのです。その意味でも、「心の清い人」とは、利己的な思いや迷いを断ち切って、神のみを見上げようとする人々のことを指しています。

そして、そのように清い心をもっている人は、神を見ると断言されます。これは必ずしも肉眼で神の姿を見るということではなく、むしろ霊の目で神にまみえることを意味しています。そのように、この世の価値観に捕らわれず、神のみを見上げる純粋な心をもつ人は神と豊かな交わりをもつことができ、それゆえ彼らは幸いだと言われるのです。生身の人間がそのような清い心を持つのは至難の業であるようにも思えますが、いずれにせよ、ここでは一切を神に委ねる姿勢が評価されており、その意味では、これまで触れてきた幸いの言葉とも内容的に密接に関連していると言えるのではないのでしょうか。

嶺重 淑

YMCA だよい



熊本地震の支援ですが、やはりGW以降はマスクなどの扱いも低調になりボランティアなど極端に少なくなっているようです。神戸YMCAでは、6月

末までのスタッフ派遣、また6/17-20にはボランティアの派遣を決めて募集中です。阿蘇などは山中で被害も多く、高齢者住宅などの復興支援には多数のボランティアを必要としている状況は依然としてあります。下記は5月末日の日本YMCA同盟島田総主事のニューズレターの抜粋です。ぜひ引き続いての支援、よろしくお願ひします。なお、神戸YMCAでは熊本地震緊急支援募金をホームページでも募集しています。あわせてご覧ください。

<http://kifu-kobeymca.org/>

熊本地震が発生してから既に一カ月以上が経過し、熊本YMCAは、会館に甚大な被害を受けている中、県内14拠点を中心に全職員が、会員・ボランティアの方々と被災者への支援活動を行っています。熊本YMCAスタッフ177名を調査したところ、全壊6名、半壊11名、一部損傷71名と、全体で49.4%が被災しており、スタッフの大半は、家族と車中で生活することを余儀なくされました。

今回の地震では、熊本YMCAが指定管理をしている益城町総合運動公園(避難者約1500人)と御船町スポーツセンター(避難者約200人)の二つの施設が避難所となりました。益城町総合運動公園では、メインアリーナとサブアリーナという二つの体育館の天井が損傷し、そこに避難者を収容できないまま、玄関、ホール、通路等に600人を超す住民が避難されていました。同時に、車で避難されている方々のテント村やペット用のテント村の運営調整も行いました。

地震発生の翌日には、熊本YMCAの要請により、全国YMCAから災害支援現場経験者の派遣を開始しました。二つの避難所運営サポートを中心に、各地のYMCAから1~2週間単位で、これまで100名のスタッフが派遣されています。益城町総合体育館では、熊本YMCAのスタッフとワイズメンズクラブの献身的な奉仕により、ようやくメインアリーナとサブアリーナの修繕と整備が行われ、長期化する避難所としての環境が整いました。

4月26日からスタートした阿蘇YMCA災害ボランティアセンターには、熊本大学YMCA花陵会の寮生を中心とした学生YMCAメンバー、宮古YMCA

ボランティアセンターで支援活動を行っている「被災地にクライマーを送る会」メンバー、そして全国YMCAのユースボランティアなど、5月8日までに国内外のボランティア計380名が阿蘇地域で活動しました。

震災から1か月後の5月14日と15日には、震災を覚える日として一斉に街頭募金が行われ、国内23YMCAと台中YMCA等アジアのYMCAが祈りを合わせ、72カ所で1,012名が募金を呼びかけました。

保健医療や心のケアの面では、YMCAと繋がりのある日本キリスト者医科連盟(JCMA)、NPO法人シェア(国際保健協力市民の会)、賛育会、淀川キリスト教病院が、熊本・むさしワイズメンズクラブの医師(熊本YMCA常議員会議長)と連携し、医師や看護師のリレー派遣による避難所での保健相談活動が始まっています。また心療内科の医師の支援により、心のケアの体制も整えています。

団体としては、いち早く日本基督教団とCWS(Church World Service)ジャパンがYMCAを通じた支援を決定してくださり、CWSの小美野事務局長は現地に入り、「Yストーリー」というタイトルで取材を継続し、YMCAの支援活動についてのニュースを海外にも発信してくださっています。

これから続く復興に向けて、熊本YMCAと全国のYMCAは、ワイズメンズクラブやロータリークラブ等のボランティア・NPO団体、行政と協働し、被災者の生活支援と復興に努めてまいります。

(YMCAインフォメーション6月号より)

#### お知らせ

現在、YMCAでは夏季キャンプの受付を行っています。今年度は身体につまづきのある子どもを受け入れるキャンプも行っていますので、ご吹聴ください。

恒例の自立の家キャンプは8月21日(日)の予定です。ぜひご参加ください(詳細は次月に)。